



▲塚本恭弘さん・珠美さんご夫妻（浜川）

資源循環型農業の振興に尽力

～ 熊本県農業コンクール大会個別経営部門「優良賞」～

平成20年度熊本県農業コンクール大会表彰式（熊本県、県内農業団体、熊日主催）が2月12日、熊本市で行われ、畜産（肉用牛肥育）を経営する塚本恭弘さん・珠美さんご夫妻（浜川）が個別経営部門「優良賞」を受賞されました。

塚本さんは、ご夫婦で優れた肥育技術と経営感覚を持たれ、また地域活動（集落営農、耕畜連携）との組み合わせにより、バランスの良い資源循環型の畜産経営を実

践されており、阿蘇地域の農業活性化に貢献されています。また、農業理解活動への取り組みとして、県内外の農業高校生を積極的に受け入れ、地元小中学校の職業・農業体験の指導等にも尽力されています。受賞に際し塚本さんご夫妻は、「これからも、素牛や粗飼料など地元の素材を活かして、地域に密着した農業を行い、より高品質な肉用牛の生産に努めていきたい」と今後の抱負を語られました。

ボート競技全国大会に出場！河野君

第20回全国高等学校選抜ボート大会が3月20日から静岡県浜松市で開催され、一の宮出身の河野匡彦君（熊本学園大付属高校2年）が、男子舵手つきクォドルプル競技に出場し健闘しました。

河野君が所属するチームは九州大会で圧倒的な強さを見せ優勝しており、今回の全国大会では8位に入賞しました。いつも江津湖で猛特訓に励んでいる河野君。今後の活躍も期待されます。



▲今大会では舵手（コックス）をつとめた河野君（一番右）

歌手の桜木愛子さんが桜苗木寄贈



「雄大な阿蘇の自然に感銘しました、阿蘇に桜の花を」と歌手の桜木愛子さん（愛知県豊田市）が、桜の苗木140本を寄贈されました。桜木さんは以前にも500本を寄贈されています。仕事で阿蘇に来た折、美しい景観や人々の優しさに触れ、桜の寄贈を考えられたそうで、高森町にも寄贈し、この数年で約1千本の桜を阿蘇に贈られています。3月18日、この件で間をもたれた桜木さんのご友人、本田敏満さんと永富久義さんが市役所を訪れ市長に目録を手渡されました。

新型インフルエンザ患者受入訓練



新型インフルエンザや鳥インフルエンザなど、感染の恐れがある患者の受け入れを想定した訓練が県内各保健所管内で実施され、阿蘇地域で唯一「第2種感染症指定」を受けている阿蘇中央病院で本番さながらの訓練が3月11日行われました。訓練は立野病院の初診で疑いが見られた患者を阿蘇中央病院に搬送し、到着後、検査、治療などを一切他に感染しないよう敏速・厳密に作業するという流れで行われ、スタッフは体制の確認などをし万々に備えました。